

## 学校再編準備委員会(第3回 学校運営部会) 結果概要

■ 開催日時 令和6年11月21日(木) 午後4時から午後5時20分まで

■ 開催場所 郡山小学校 コンピュータ室及び校長室

■ 出席者

【委員】3人

合川小学校長、天名小学校長、郡山小学校長

【委員以外に必要と認められる者】7人

天栄中学校長、栄小学校長

合川小学校、天名小学校、郡山小学校、栄小学校、天栄中学校の各校研修長

【教育委員会事務局】5人

教育政策課 政策推進グループ(1人)

教育指導課 課長

研究グループ(3人)

■ 傍聴者 1人

■ 事項

1 開会(教育指導課長 挨拶)

2 協議事項

(1) 今後の研修体制について (資料に基づき事務局から説明。)

・ 全体説明に係る質疑なし

(2) 各校から (校長(校長室)、研修長(コンピューター室))に分かれて意見交流。)

《 学校長からの主な意見 》

- ・ 校区で大事にしていること(これまでの取組)は継続していく。
- ・ アドバイザーの活用にあたっては、校で大事に取り組んできたことや、めざす子ども像を共有することが重要である。
- ・ 「だれひとり取り残さない」という点を大切にして、取り組んでいきたい。
- ・ 自校の現状から、本格的に複線型の授業に取り組んでいくのは、令和8年度の「新たな小学

校」からでよいのではないか。現在、手探り状態で、他校に発信していくのはかなり不安である。

- ・ 不安はあるが、とにかくやってみるという姿勢で、教育指導課やアドバイザーの先生に疑問を投げかけ、学んでいく方向ではどうか。
- ・ 鈴鹿市がめざすのは、自律した学習者の育成であり、この理念は、校区でも同じである。大事なことは、複線型というのは手段であり、授業の中でどのように取り入れていくかがポイントである。
- ・ ICTを使って学ぶ必要性は感じている。子どもたちも積極的に使っている。しかし、その一方で体験的な学習や、天栄中学校区で大事にしてきた「つながり」も引き続き大事にしたい。
- ・ 学びを最大限に引き出すために、ICT をどのように活用したらよいか、という視点で研修を進めていきたい。
- ・ 授業公開もしていく必要がある。校区の研修体制を揃えていく必要がある。
- ・ 今日のように、研修長を集めて話し合うのも、取組のひとつといえる。
- ・ ICT 活用に当たっては、制限を緩和できるよう、事務局には、臨機応変に対応してほしい。
- ・ 全市的に、これらの取組を進めていくので、(天栄中学校に多くが入学してくる)稲生小学校にも情報共有する。

#### 《 研修長からの主な意見 》

- ・ 令和7年度春から、同じ研修テーマで取り組んでいけるようにしたい。
- ・ ICT を活用しながら、主体的な学びを行っていくことは大切。
- ・ 中学校区で連携して、研修を進めていけるのはありがたい。
- ・ 教員に ICT 活用に対する苦手意識がある。職場だけでは推進が難しいため、中学校区で推進するのは重要であり、フォロー体制が必要である。
- ・ 他の学校と比べて、ICT 活用が進んでいないので、不安感が大きい。
- ・ ICT の活用には、職員間差はある。いろいろなアプリを学びながら、授業に取り入れている。
- ・ ICT 活用は、(先進的な取組が実施されている)春日井市の視察から考えても、「情報」の時間があってこそ成り立つのかもしれない。ICT の活用に関しては、緩やかな発信では追い付かないと思う。
- ・ 「情報」の時間の35時間は、すぐには難しいが少しずつなら可能。バランスよく取り入れたい。
- ・ 春日井市や深伊沢小学校の実践を参考にして、複線型の授業にも少しずつ挑戦している。
- ・ 総合的な学習の時間や社会科で、少しずつ複線型の授業を取り入れている。
- ・ 複線型授業は、低学年には難しいと考える。
- ・ 成果として、授業中に自席を離れ、協働的な学びをする姿が増えてきた。
- ・ 子どもたちに学習を委ねることに不安があるが、子どもに感想を聞くと、自分のペースで

学習を進められることがいい、とのこと。

- ・ 教員の授業観を転換する必要がある。
- ・ 今の学校では推進できるかもしれないが、「新たな小学校」という新しい環境では不安がある。
  
- ・ 本年度、中学校区として「話し合い活動」に重点的に取り組むという確認をした。
- ・ 学習に取り掛かりにくい子どもが出ないように、班の活動を重視している。
  
- ・ 現在の研修テーマには「主体的な」ということばや意味合いが含まれている学校が多い。
- ・ 単に各校の研修テーマをつなぎ合わせることは避けたいが、ゴールイメージは統一したい。
  
- ・ 学校で今後の取組について共有する際には、教育委員会事務局も同席してもらえるとよい。
- ・ 複線型の授業スタイルだけが、形として伝わっていくのは望ましくない。
- ・ 複線型の授業スタイルは、授業を参観しただけでは、疑問や課題がある。実際にやってみて、良かった点なども伝えていきたい。
- ・ 主体的に学ぶ力の育成、自律した学習者の育成を前面に示したい。
- ・ 各校の今年度の振り返りと来年度の方向性の会議の時点では、方針を確認したい。
- ・ 来年度4月から始めるために、可能な限り本年度の3学期から準備を進めていきたい。

### (3) 生徒指導のルールについて(今後の予定について確認)

#### 《 概要 》

- ・ 「新たな小学校」に再編される3校について、生徒指導担当者が集まって、共通のルールを協議する場をもち、必要であれば、令和7年度から適応させていきたい。
- ・ 3学期に一度開催する。依頼は、事務局で行う。今回は生徒指導担当者だけの会議とする。

#### 3 次回の会議

- ・ 未定

#### 4 閉会

以上